

ならない。徴収・収納という事務処理を行う人員が不足していたためこのような事態になったと考えられる。

村長による要求監査の結果によれば、平成15年度とその後1回、課の体制が変わり、それが関係しているのではないかと推測される。

8. 参考人の話から推測すると、受益者負担金に係る問題を、庁内で情報として共有していなかったのではないかと推測される。

また、現場の危機感を訴える場がなかったのではないかと推測される。

時間の経過とともに、現場の危機感は薄れ、庁内で問題が共有されなかった。また直接関係しない部署は無関心であったか、関心があってもそれを表に出せる状況ではなかったと思われる。危機感を持つ職員の情報を集める場が必要であり、全体が問題を共有する体制を整えることが大切で、理事者はそれに気付き体制を整える必要があった。これは単に今回の問題に限ったことではない。

〈結論・意見〉

正確かつ迅速な日々の会計

業務の遂行や、情報を収集して再発防止策を検討し、現在の調査事務を速やかに進め、この問題を風化させない体制づくりを要望する。

縦割り行政の弊害もあり、政策法務に関しては法律の基礎的知識や解釈の知識が職員には不足しているように思える。

現場の危機感を理事者いかに伝えるか、また現場に危機感を持たせるにはどのような方法にしたらいいか、合わせて法令遵守や財務諸表の知識の習得などの研修の場と、予算の十分な確保が必要である。

また、行政においては、住民監査請求に対する監査結果の勧告を尊重し、客観性を持たせるために第三者委員会を立ち上げるなど、客観性・公平性・遵法性に配慮した対応を要望する。

議会の責任については、十分にチェック機能が果たされていないのかどうかを、今回の問題を真摯に受け止めて反省するとともに、今後、議会運営の基本的課題として検討していかねばならないと考える。

議会研修視察実施報告書

研修視察の目的

選挙区選出国會議員を訪問し、村が抱える現状の問題点等について説明・要望

研修視察実施者

● 會議議員 10名

研修視察場所

● 衆議院会館・参議院会館(選挙区選出議員室)、国会本会議傍聴

研修視察日程

平成25年2月4日(月)
～5日(火)

研修視察経費

自己負担 18万3160円
公費 20万円
合計 38万3160円

要望内容

● 観光関係
①長野新幹線金沢延伸に伴う道路・鉄道のアクセス整備

②インバウンド事業推進のための国の積極的観光情報発信など

● 道路関係

①地域高規格道路松本系魚川連絡道路の早期整備促進

②国道406号線・国道14

8号線の改良工事推進

● 砂防・河川関係

姫川・松川・平川など河川の砂防促進・土砂流出対策及び周辺崩落対策など

● 山岳関係

①登山道路整備事業の充実および猿倉から御殿場間EVのバス運行許可など

②山岳環境保全対策(浄化槽設置)補助金枠の拡大

● 鳥獣被害関係

新規銃猟者・捕獲従事者の支援策

● 再生可能エネルギー

関係
小水力発電等の支援充実

研修視察内容

● 国会傍聴では、安倍首相の所信表明演説に関わる質問を傍聴した。

● 目黒区防災センターは災害時の本部機能を有し、非常食生活用品、非常時備品等を備えている。併設の「地震の学習館」で地震や防災体験をした。



長野県選出国會議員への要望 2月4日